

令和3年6月1日

関係各位

薬 剤 部 長

医薬品情報第2号（令和3年度）

令和3年5月12日に開催された薬事委員会において、次の事項が承認されましたのでお知らせいたします。新規試用採用医薬品は2品目、新規採用医薬品は3品目、削除医薬品は4品目です。

〔新規試用採用医薬品〕

No	薬品名	薬価	一般名	薬効	長期投与	会社名
1	ツムラ人參養榮湯エキス顆粒	¥20.5/g	漢方製剤	漢方製剤	可	ツムラ
2	エムガルディ皮下注 120mg オートインジェクター	¥45,165/筒	ガルカネズマブ (遺伝子組み換え)	ヒト化抗 CGRP モノクロー ナル抗体製剤	非該当	リリー＝ 第一三共

〔新規採用医薬品〕

No	薬品名	薬価	一般名	薬効	長期投与	会社名
1	エルデカルシトールカプセル 0.75μg「サワイ」	¥29.6/CP	エルデカルシトール	活性型ビタミンD3製剤	可	沢井
2	ロケルマ懸濁用散分包 5g	¥1,095.2/包	ジルコニウムシクロケイ酸ナトリウム 水和物	高カリウム血症改善剤	不可	アストラゼ ネカ
3	流動パラフィン「コザカイ・M」	¥8.9/10mL	流動パラフィン	軟膏基剤	非該当	小堺

☆削除対象医薬品について

No	薬品名	薬効	同効薬	理由
1	ニカルジピン塩酸塩散 10%「日医工」	Ca拮抗薬	アムロジピン、ベニジピン 等	処方量が少ないため。 採用品目の整理。
2	バファリン配合錠A330mg	解熱鎮痛消炎剤	アスピリン末	製造販売中止のため
3	クリノリル錠 100mg	非ステロイド性消炎・鎮痛剤	アセトアミノフェン	製造元日医工の出荷停止 のため。採用品目の整理。

☆削除医薬品について

No	削除医薬品	薬効	同効薬	理由	在庫数 (2021.5時点)
1	ピクシリン注射用 0.25g	アンピシリンナトリウム	ピクシリン注射用 1g、 その他のペニシリン系抗生物質製剤	院内採用の規格整理 のため	—
2	フラビタン錠 5mg	フラビンアデニン ジヌクレオチド	補酵素型ビタミンB2製剤	供給再開の目処が立 たないため	—
3	ロケルマ懸濁用散分包 10g	ジルコニウムシクロケイ酸 ナトリウム水和物	ロケルマ懸濁用散分包 5g	処方量が少ないため	34 包
4	流動パラフィン「マルイシ」	軟膏基剤	流動パラフィン「コザカイ・M」	製造販売中止のため	—

*在庫の使用促進にご協力をお願い致します。3については、引き続き院外処方可能です。

1. DRUG SAFETY UPDATE(No.298)

2. その他 重要な添付文書改訂情報

一般名/採用薬品	改訂箇所・内容
リトドリン塩酸塩 リトドリン塩酸塩点滴静注液「オーハラ」	〔重要な基本的注意〕 追記 <u>本剤を投与した母体から出生した早産児において、低血糖のリスクが高いことが報告されているので、症状の有無にかかわらず新生児の血糖値のモニタリングを適切に行い、異常が認められた場合には、適切な処置を行うこと。</u> <u>本剤と硫酸マグネシウム水和物（注射剤）を併用した母体から出生した早産児において、高カリウム血症のリスクが高いことが報告されているので、これらを併用した場合には、症状の有無にかかわらず新生児の心電図又は血清カリウム値のモニタリングを適切に行い、異常が認められた場合には、適切な処置を行うこと。</u> 〔重大な副作用〕 追記 <u>新生児高カリウム血症</u>
硫酸マグネシウム水和物・ブドウ糖マグセント注	〔重要な基本的注意〕 追記 〈効能共通〉 <u>本剤とリトドリン塩酸塩（注射剤）を併用した母体から出生した早産児において、高カリウム血症のリスクが高いことが報告されているので、これらを併用した場合には、症状の有無にかかわらず新生児の心電図又は血清カリウム値のモニタリングを適切に行い、異常が認められた場合には、適切な処置を行うこと。</u>
イオパミドール イオパミドール注「F」 イオパミドール注シリンジ「F」	〔11.1 重大な副作用〕 一部改訂 〈効能共通〉 皮膚障害：

	皮膚粘膜眼症候群（Stevens-Johnson 症候群）、 <u>急性汎発性発疹性膿疱症</u> があらわれることがあるので、観察を十分に行い、発熱、紅斑、小膿疱、そう痒感、眼充血、口内炎等の症状が認められた場合には適切な処置を行うこと。						
フルボキサミンマレイン酸塩 ルボックス錠	〔禁忌〕 一部改訂 ピモジド、チザニジン塩酸塩、ラメルテオン、<u>メラトニン</u>を投与中の患者 〔併用禁忌〕 一部改訂 <table><tr><th>薬剤名等</th><th>臨床症状・措置方法</th><th>機序・危険因子</th></tr><tr><td>ラメルテオン、<u>メラトニン</u> 〔2.3参照〕</td><td>これらの薬剤の最高血中濃度、AUCが顕著に上昇すると報告があり、併用により作用が強くなるおそれがある。</td><td>本剤は、肝臓で酸化的に代謝されるこれらの薬剤の代謝を阻害し、血中濃度を上昇させると考えられる。</td></tr></table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	ラメルテオン、 <u>メラトニン</u> 〔2.3参照〕	これらの薬剤の最高血中濃度、AUCが顕著に上昇すると報告があり、併用により作用が強くなるおそれがある。	本剤は、肝臓で酸化的に代謝されるこれらの薬剤の代謝を阻害し、血中濃度を上昇させると考えられる。
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子					
ラメルテオン、 <u>メラトニン</u> 〔2.3参照〕	これらの薬剤の最高血中濃度、AUCが顕著に上昇すると報告があり、併用により作用が強くなるおそれがある。	本剤は、肝臓で酸化的に代謝されるこれらの薬剤の代謝を阻害し、血中濃度を上昇させると考えられる。					
アンブリセントン ヴォリブリス錠	〔重要な基本的注意〕 一部改訂 エンドセリン受容体拮抗薬(ERA)の投与時に肝酵素上昇が認められているため、本剤の投与開始前に必ず肝機能検査を実施し、投与中においては必要に応じて定期的に、<u>肝機能検査を実施しモニターすること。</u>本剤投与中に、臨床的に顕著なアミノトランスフェラーゼ(AST、ALT)上昇、肝障害の徴候を伴うアミノトランスフェラーゼ上昇、又は黄疸が発現した場合には本剤の投与を中止すること。						
スルファメトキサール・トリメト プリム バクタ配合錠 バクタ配合顆粒	〔重大な副作用〕 一部改訂 皮膚粘膜眼症候群（Stevens-Johnson 症候群）、中毒性表皮壊死融解症（Toxic Epidermal Necrolysis：TEN）、<u>多形紅斑</u>						